

観音道と

観音信仰

熊野古道伊勢路のうち、熊野市大泊町の登り口から山上の泊観音へと向かう道を観音道といい、現世利益、諸願成就がかなうとされる観音信仰が盛んであった頃、多くの参詣客が訪れました。泊観音は正式には「比音山清水寺」と呼ばれており、江戸時代には和歌山県太地、新宮方面、三重県の二木島方面など、近在の人々による観音講が多く生まれ、信仰を集めました。観音様の命日ともなると、観音道には屋台や露天商が軒を連ね、子供から大人まで大勢の人々で賑わったそうです。

観音道の象徴とも言える、路傍に並んだ観音像からも当時の人々の信仰の深さが伺えます。西国三十三所にちなんで建立された観音石仏には、札所名と共に、石仏を寄進した信者や観音講の名前も刻まれており、比音山清水寺から麓の清泰寺に移された四体をのぞいた二十九体が、当時のままの姿で観音道を行く人々を見守っています。

鎌倉時代の三十三所巡礼の旅は、行者、いわゆる山伏によって行われる厳しい修験の場としての意味合いが強く、一般的に知られるようになったのは室町時代中期ごろだと考えられています。特に江戸時代に入ってから、西国巡礼に関する旅の記録が数多く現存しており、その盛況ぶりが伺えます。一方で、西国三十三所巡礼になぞらえた、手軽に行うことが



熊野古道からのてがみ

熊野古道からのてがみ 52 通目

自分自身と向き合い、葛藤しながら見付けていくものなのだ。と悟られ、巡礼の奥深さや巡礼の持つ意味に気が通ずるといふもの。この番組を見て私は、他の国にも巡礼というものは存在しその根底にある



意味には大きな違いはないものと感じました。人の人生の中では様々な事に悩み、迷い、苦しみながら生きている。そんな中でこの修羅場を他の力を借りても乗り切りたい。そうした思いを実現する手段として巡礼や信仰というものが、この道を利用する人の中にもそういう目的を持った人達が多かっただけだと思えます。道の世界遺産として後世へ伝えていくその意味は、やはり「日本人の癒しの道」であったのかも知れません。

古道歩きは醍醐味は、ふとした情景の中から時間旅行出来る要素がたくさんある事と、その土地の人々とのふれあいの機会が多い事ではないかと思えます。熊野古道伊勢路の一部が世界遺産に登録され15周年目を迎えました。明治維新から約150年、戦後から74年を過ぎて、ますます昔の情緒や面影も次々と消滅しつつあります。そうした中で、数多くあった古い道の中からこの道が、100年後も200年後も残されていく意味というのは大きいと思えます。2年ほど前のNHKの番組に「本の道 黒い聖母の巡礼路を行く」フランス・ミディピネー」というドキュメンタリー番組がありました。これは、NHKの女性アナウンサーが現地ガイドを伴って、フランスのフイジャックという町から、聖地イカドールにある黒い聖母の教会を目指して旅する様子を記録したものです。初め女性アナウンサーは旅人気分歩き始め、巡礼者たちになぜ巡礼の道をするのか質問していき、ミディピネー地方の自然や巡礼遺産、当地の人々とふれ合いながら旅を続けて行くうち、徐々に自分も巡礼者になってしまふ。最後聖地イカドールの教会を訪れ、巡礼の意味を訪問すると「よく最後まで頑張りなれ。巡礼の意味というものは、巡礼者自身が長い旅の中で

次は御浜町の山崎るみさん



奥村 清司 (多気町)
熊野古道伊勢路を守る会会長
セーフティーネット伊勢路会長
多気語り部の会会長
宮川流域案内人の会副会長
熊野古道女鬼峠保存会副会長

花尻 薫からの季節のたより No.52

ヤツデは暖地の海岸に近い林内に生える常緑の低木です。分布は本州の福島県から南の太平洋側・四国・九州・沖縄です。名前の由来は葉の形が人間の手の平のような形をして、多くの切れ込みが有るため、1本の葉に7~11までの切れ込みが見られます。ヤツデの花の開花は10月から12月頃ですが、中には越年するものも見られます。秋おそく枝の頂上に円形の白色の小花をつけます。



ヤツデ ウコキ科

花は雄花ばかりつく花の茎と、雌花ばかりつく茎に分かれています。花の大きさは5ミリメートルくらいで、花の枝の上の部分は雌花の実をつけています

が、小枝のものは雄花で実がならないのです。七里御浜の松林の中に、ヤツデの低木が見受けられます。ヤツデを庭木にするのは、ヤツデに悪性の病気を防ぐ魅力があるからとされています。鹿児島県では隣町に伝染病が発生すると、急いで町の入り口に胡椒(コショウ)を吊るして「ナンテン(南天)来たときは胡椒を食わせて、毒を消す」と唱えると言います。また、鹿児島県では水神様の祭りにヤツデの葉を用い、米の粉の団子と赤飯をのせて、ヤツデの葉に酒を注いで供える地方もあるとされています。

センター敷地内「夢古道おわせ」

お母ちゃんのランチバイキング
11:00~14:00
料 金 中学生以上1,200円
小学生以上700円
4歳~小学生300円
4歳未満無料
60歳以上1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

お風呂おがりは、カフェでゆったり
毎月26日は風呂の日
お子様は通常300円が100円で入浴できます。
営業時間 9:00~16:30
カフラスオーダー16:00

「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124



お車で越しの方は...
尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)※尾鷲南ICからは約8分

電車でお越しの方は...
JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車

熊野古道センターからのてがみ

2019年 秋号

- 発行日:2019年9月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:東
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索
ホームページ
http://www.kumanokodocenter.com/
60000190910MH

熊野古道伊勢路 通行止め一部解除のお知らせ
熊野古道伊勢路「横垣峠道」の一部(横垣峠(石碑)~坂ノ崎区間)は通行が解除となりました。
詳しくは御浜町教育委員会 TEL.05979-3-0526までお問い合わせください。

その他
Guide&Tips

9月14日～10月27日まで、『熊野古道写真学校』の講師をしていた杉本恭子の写真展が開催されます。11年間にもわたる東紀州の面白い被写体を再発見する撮影会でした。こんな所にこんなものが?こんな風に撮ると素敵な風景になる?参考になる写真がいっぱいです。あなたもカメラを持って楽しい出会いを写真に収めてください。

フォトグラファー 杉本 恭子



かくれんぼ

旬の企画展



世界遺産登録15周年記念企画展
矢ノ川峠物語
～思い出がこだまする～

尾鷲市と熊野市の間にある標高807mの矢ノ川峠は、昭和34(1959)年に現在のJR紀勢本線が開通するまでは路線バスが走り、それ以前は日本で最初の旅客索道が運行していました。本企画展はその矢ノ川峠の交通変遷を写真や資料で紹介しします。

期間 11/2(土)～12/15(日) 会期中無休
時間 午前9時～午後5時
場所 企画展示室
入場料 無料
観覧力 思い出の矢ノ川峠の会



特別展示室 企画展
尾鷲市立中央公民館 郷土室 収蔵品展

同室の常設展示以外の史料や郷土に関する興味深い資料を選定して展示します。尾鷲市の歴史・文化・自然等について理解を深めていただき、新たな発見をしてみませんか。

期間 8/31(土)～10/14(日) 会期中無休
時間 午前10時～午後5時
場所 特別展示室
入場料 無料



和歌山県
世界遺産センター
からのお知らせ

真夏の厳しい日差しも和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。今夏も熊野古道へ国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただいております。また、6月～8月には参詣道保全活動(道普請)に下記の通り多数の団体の皆様に参加されました。世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう、当センターでは「世界遺産セミナー」を開催しています。7月7日開催の第2回世界遺産セミナーでは「戦前の映画に見る熊野路の風景」について、9月1日開催の第3回世界遺産セミナーでは「熊野の無社殿神社」について講演を行い、多数のご参加をいただきました。第4回世界遺産セミナーは12月中旬に九度山町で開催する予定です。9月からは次世代育成事業として、和歌山県下から応募いただいた小中高30校を対象に世界遺産学習を実施します。

令和元年6月～8月 道普請参加団体(敬称略)

三菱UFJフィナンシャル・グループ、JATA(一般社団法人日本旅行業協会)関西支部、南山大学附属小学校、サントリー酒類株式会社、関西電力労働組合、南紀白浜リゾートホテル、49-3即自有志

道普請とは

文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・割草清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加いただいています。

参詣道保全活動(道普請)及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせ

和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお願いいたします。
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

イベント情報

交流イベント

熊野古道センター
スカイランタンフェスティバル
10/6(日)

木にふれる体験やアート体験、プチマルシェの他、子ども向けアニメの上映会など家族で楽しめるイベントを開催します。イベントの最後には、願いを乗せたスカイランタンが夜空へ舞い上がる幻想的な光景をお楽しみいただけます。

時間 午前10時～午後7時 入場料 無料 場所 熊野古道センター芝生広場及び映像ホール

世界遺産登録15周年記念イベント

スカイランタン・スケジュール

強風・雨天の場合は中止

時間 午前11時～チケット販売
午後5時～引き換え
午後6時～リリース
参加料 800円(スカイランタン1セット)
定員 300名(当日先着順)

企画展 世界遺産登録15周年記念企画展
フォトグラファー 杉本恭子 写真展

～東紀州11年の想～

開館以来11年間、「熊野古道写真学校」の講師を務めていただいた写真家 杉本恭子氏の写真展を開催します。

期間 9/14(土)～10/27(日)
時間 午前9時～午後5時
場所 企画展示室
入場料 無料 会期中無休

特別展示室 企画展
**熊野古道
フォトコンテスト
歴代入選者作品展**

2007年より11回に亘り開催した『熊野古道フォトコンテスト』の入選作品を厳選して展示します。



期間 10/26(土)～1/12(日) 12/31(火)1/1(水)は休館
時間 午前10時～午後5時
場所 特別展示室
入場料 無料

東紀州の特産品や食材の魅力を知っていただくための料理教室です。
秋の行楽弁当
時間 午後1時～3時
参加料 2,000円
定員 24名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 体験学習室
講師 村林 新吾氏(相可高校食物調理科教師)
相可高校調理クラブの皆さん
受付期間 9/6(土)～9/29(日) 午後5時まで

熊野古道自然学校
10/12(土) 植物観察会

時間 午前10時～正午 雨天の場合翌日に延期
参加料 500円(保険料・資料代含む)
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 大白公園(紀北町天口浦)
講師 山本 和彦氏(三重自然誌の会会員)



東紀州地域の植物について学ぶ講座として、海と山に囲まれた大白公園(紀北町)を散策しながら、ハマナツメ等の海浜植物を観察します。

12/14(土) 化石発掘体験

約1,700万年前の地殻変動で海底が隆起してきた尾鷲市の行野浦層を観察し、二枚貝やサメの歯などの化石を発掘します。

時間 午前10時～正午 雨天の場合翌日に延期
参加料 500円(保険料・資料代含む)
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 尾鷲市行野浦
講師 二村 直司氏(元尾鷲市文化財調査委員)
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)



受付期間 11/14(水)～12/7(土) 午後5時まで

伊勢路踏破ウォーク 世界遺産登録15周年記念
西国第一の難所より熊野への旅

世界遺産登録15周年を記念し、熊野古道伊勢路を歩く連続トッキングツアーを開催します。
開催日 12/7(土) 14(土) 21(土) 雨天の場合翌日に延期
時間 午前7時～午後4時
参加料 各回 500円(保険料・資料代含む)
定員 各回 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者
場所 熊野古道センター～熊野市木本町まで

12/7(土) 熊野古道センター～賀田町 歩行距離 約16km
12/14(土) 賀田町～新鹿 歩行距離 約13km
12/21(土) 新鹿～木本町 歩行距離 約12km



受付期間 10/30(水)～11/30(土) 午後5時まで ※3日分の受付を行います。

連続講座 9/28(土) 午前10時～午後3時 10/5(土) 午前8時30分～午後2時
初心者のための山歩き入門

小中学生や登山の経験が少ない方、熊野古道センター主催の山歩きのイベントに興味があるが、体力に自信がなく参加を迷っているという方のための山歩き講座を開催します。

参加料 500円(保険料・資料代含む)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 体験学習室および熊野古道馬越峠道
講師 宮本秀男(熊野古道センター職員・日本スポーツ協会山岳上級指導員)

受付期間 8/28(水)～9/21(土) 午後5時まで

